

会議録

(1) 会議名

令和5年度第5回北杜市清里地域活性化委員会

(2) 開催日時

令和6年2月19日(月) 午後2時00分～3時07分

(3) 開催場所

北杜市役所 高根総合支所 2階大会議室

(4) 出席者

委員

関係団体を代表する者	浅川	力三
関係団体を代表する者(代理出席)	小泉	徹
関係団体を代表する者	酒井	久欣
清里地域に活動の本拠を有する個人及び法人	武川	尚志
清里地域に活動の本拠を有する個人及び法人	輿水	順彦
清里地域に活動の本拠を有する個人及び法人	中込	巖
清里地域に活動の本拠を有する個人及び法人	谷口	信
清里地域に活動の本拠を有する個人及び法人	秦	英水子
学識経験者	安藤	勝洋
関係行政機関職員	小泉	嘉透
その他市長が必要と認めるもの	中村	洋一

市役所(事務局)

観光課長 土屋 直己(司会)
観光課 観光振興担当リーダー 長坂 恵一
観光課 観光振興担当 進藤 友紀

(5) 議題

- (1) 清里提言内容について
- (2) その他

(6) 公開・非公開の別 公開

(7) 傍聴人の数 2名

(8) 議事の進行経過

1. 開会

(事務局)「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」第4条により公開する。

本日の会議への傍聴人が2名であることを報告し、傍聴人が入室。

会議録については、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」第9条により会議の会議録を作成し、同要綱10条により公表する。会議録には会議で指名する者、2名以上の署名が必要であり、議事録署名人を委員の方々から指名。「委員名簿」順で、中込巖委員と谷口信委員を指名。

2. 委員長あいさつ

3. 議事

(司会) 協議会設置要綱第6条に基づき、委員長に議事の進行をお願いする。

(議長) 議事(1) 清里提言内容について、事務局より説明をする。

(事務局) これまでの委員会およびワーキンググループの活動経過について報告、当初は1年での委員会終了を予定していたところだが、令和4年度に引き続き令和5年度も審議を継続した。

令和5年度は、4月に委員会委員長、副委員長、ワーキンググループのメンバーから、これまでの検討内容について市長に中間報告を行った。その後、4月から、12月までワーキンググループは全15回という回数を重ねて、本日の提言内容についてまとめてきた。

今回の第5回委員会では、提言内容について委員の皆さまに最終確認をいただき、年度内には市長への提言を予定している。

(議長) まず経緯のところで、質問や意見、確認事項はあるか。

(委員) 特になし。

(議長) 続きの提言内容の説明を事務局から。

(事務局) 資料がこれまでまとめた提言内容となる。全15回開催しているため、ワーキング内での打合せ資料はもっとあるが、提言としてはこのように取りまとめた形。資料に基づき説明。

題名については、『“夢かける高原” 夢追い人が集える街』清里プロジェクト。

1ページ目は、清里ブランドについて。ワーキンググループの中で、清里の何が他地域に比べて優位性があるのか、特徴は何かと話し合ってきた。その中でまとめた清里の価値が8つ。「誰よりも住人たちが好きと言える素敵な清里がある」「挑戦者を迎え入れる気概がある」「かつていい大人が多い」「どこにもない風景とデザインがある」、2ページ目、「起業家や先駆者がいる」「自分発生のイベントの活発さ」「かつて全国的に有名な観光地だった」「環境教育の先進地域、サステイナブルがあたりまえ」。他にも多くの意見があったが、概ね同様な内容であることからこの8つに集約した。

今後については、これらの価値を伝えるために、清里の写真と合わせたイメージページを作っていくという流れ。

3ページ目は、「清里の未来を創ろう-清里スピリッツを原点として-」。前ページまでのまとめた清里の8つの価値を、中長期的でどのように実現していくか「8つの未来」として掲げ、ミッション、ビジョン、戦略、事業プランを説明。清里が目指す「8つの未来」は「清里に関わりたい、住んでみたい街」「挑戦者を受け入れる街」「ともに考え、行動し、夢のある未来がある街」「圧倒的自然とモダンが融合する街」「地域の才能を活かす街」「地域を愛し、楽しむ人

が「いる街」「観光地のあり方を誰よりも考える街」「清里らしさ、サステイナブルがあたりまえの街」とした。

4 ページ目は、具体的なテーマと、付随するそれらの取組みのスタイルを3つずつ説明。3つのテーマは「つながりを大切にする」「にぎわいを創出する」「くらしを尊重する」。3つのスタイルは「協働による新しい清里の企画」「地域の活動応援」「想像と交流チャレンジの拠点」とした。これらを進めることにより清里が活性化し、新しいチャレンジが循環し、清里の8つの未来が構築するという流れをつくっていききたい。

5 ページ目は、テーマごとの事業プラン-1 として「つながりを大切にする」の具体的な取り組み事項。

6 ページ目は、テーマごとの事業プラン-2 として「にぎわいを創出する」の具体的な取り組み事項。

7 ページ目は、テーマごとの事業プラン-3 として「くらしを尊重する」の具体的な取り組み事項。

8 ページ目は、清里が目指す「8つの未来」のために、さらに具体的な事業内容を、短期から中長期的な取組みとして、実現していくこと。これら事業の画者には、清里の皆さんや清里以外の皆さん、八ヶ岳コモンズや清里観光振興会、北杜市などを想定している。

話し合いは継続して行うということから、取組みを実施する中で見直し、検討を行っていくことも確認した。

(議長) 質疑に入る前に、委員兼ワーキンググループのメンバーから補足事項などあるか。

(議長) ワーキンググループのメンバーとして補足したい。参画者については、これまで「誰がやっていくのか」が課題となり、明確にするべきという話し合いから入れた文言となる。実際にはもっと具体的なプレイヤーが動いていく流れが想定されるが、ひとまずこのような名前を提示している状況。

また資料5枚目について、事業を一つ行って終わりではなく地域内外の人たちが相互作用や連鎖をして循環しながら、多種多様な活動が生まれていくイメージを作りたいという話があり、「チャレンジの循環」とした。

(議長) 他の委員兼ワーキンググループのメンバーから何かあるか。

(委員) 特になし。

(議長) 他の委員から今の説明内容について質問や意見はあるか。

(委員) 小海線の活用は具体的にどのようなことを想定しているか。

(議長) 事務局に説明を求める。

(事務局) 市で考えているのは、日常利用を増やすための取組みは現実的に難しいため、観光列車ハイレール 1375 をはじめとした観光利用を、日本人だけでなく外国人も含めて促進していきたいと考えている。JR長野支社とも来年に向けて新しい企画を相談していこうと考えている。

(議長) その他あるか。

(委員) 短期、中長期とは何年を指すか。

(議長) 事務局から説明を求める。

(事務局) 短期とは、今すぐにでも取り組みたいと思っている。中長期については予算を必要とするものもあり、市長に提言をした中で、市側として実現可

能なものを検討する。何年以内という具体的な数値は難しい。

（委員）中長期という言葉でイメージする年数は人によって違うと思う。

（委員）市長に提言するのであれば、市長がこの諮問機関であるから入れるべき。

（議長）入れられるだけの具体性があれば検討することとする。

（事務局）了承。

（委員）ＪＲと市が組んでシステムの利用促進につながる取組みをする必要があるのではないかと。また、小海線の駅舎の二次利用も想定しながら、市と共同でやっていくという感じで提言すると良いのでは。

（委員）市でも台湾人へのインバウンドに向けて連携していて、小淵沢から清里まで乗り、バスで野辺山まで行くような観光ルートが構築されているな、と清里で働く身としては実感していて、さらに乗客数が増えるのではないかとと思う。

（委員）歩道の整備が進んでおらず、サイクリングロードとしての役割は果たしていない。自転車利用者の小海線活用も進むと、乗客数はさらに増えるのではないかと。

（議長）東京の青海線でもデスティネーション開発的な近い取組みを行っていて、サイクリングロードや降車後の取組みをリンクさせていくのが大事になってくると感じる。

（議長）一度全体に話を戻し、中長期のスケジュールが必要だということについて最終確認や質問事項はあるか。

（委員）短期のものでも手間がかかったり、予算が伴うものがあるかと思うがどのようにやっていくのか。

（事務局）本年度予算で確保している分で、同時進行的に進めていきたい。

（委員）イメージする参画者の動きとすると、清里の方々などが主体的に進めるのか、それとも市の事業として予算立てをした中にその方々が加わるのか。

（事務局）市が提言を受けるため、市で考えることは多々あり、ＰＲに関しては観光課としてもすぐできることは実施していきたい。市が動きにくく、時間を要するようなところは振興会をはじめとした地域の皆さんが一体となって取り組まないと実現できないと考えているため、一緒に取り組んでいきたいと思う。

（議長）その他あるか。

（委員）廃墟の多さが気になる。特に廃ホテルは相続放棄されたという噂も聞き、地元だけではどうにもできないので、市の提言の中に入れるのはどうか。

（事務局）かねてより清里振興会などから要望を受けていると他課から聞いている。景観上、撤去を実現したい思いは一緒だが、市としても動きに時間がかかると思う。

（議長）提言の中ではあまり特定せず、景観の整備、廃墟の活用といったまとまりの意味合いの方が良いのではないかとと思う。

まとめとして、中長期の計画について期間を具体的に入れる、景観の整備のところに廃墟の文言を加えるという２点が修正点として挙がった。この内容で委員会として提言するということでよいか。

（委員）了承。

（議長）議題（２）その他について、何かあるか。

(事務局) 特になし。

(議長) 議事を終了する。進行を事務局へ戻す。

(司会) 本日の資料修正を踏まえて、3月には委員会から提言を行い、それに対する市長の考え等を追って報告させていただく。

4. 閉会の挨拶

午後3時07分終了

令和6年 月 日

議事録署名人 _____ 印

議事録署名人 _____ 印